

後期基本計画策定に向けて

まちづくりの基本方針1

豊かな自然に抱かれる伊豆の国市(自然・生活環境)

豊かで美しい自然やおいしい水がある環境、美肌の湯は、本市のまちづくりの最も大切な基盤であり、市民の誇りでもあります。これら環境を、市と市民や民間が相互に連携し、環境意識を向上させ、次代への継承を目指します。

市民や民間とともに、環境負荷の少ないまちづくりを一層進め、快適で潤いのある生活環境の創造を目指します。

●施策の大綱 1-1 自然環境の保全と景観の向上

■成果指標に対する進捗管理

○指標(成果指標) / 水質基準(BOD)のAA達成河川数の増加=A
評価/順調に推移している

○指標(成果指標) / 伊豆の国市全域におけるCO2の排出量の削減
評価/実績値を把握することができず、未評価

■後期基本計画の方向性の提案等

主要施策	後期基本計画の方向性の提案等
1 生物多様性の確保保全	※竹林、担い手、下水道の課題への対応を記述してはどうか。 ※生物多様性ではなく、『自然との共生』として分野のバランスをよくしておく必要があるのではないか。
2 伊豆の国風景づくりの推進	※江川邸周辺の景観形成方針の見直しを記述してはどうか。 ※景観形成、歴史を活かすまちづくりが本市の重要な施策であることから、順番を上位にしてはどうか。
3 おいしい水が飲めるまちの推進	※飲料水の供給は計画的に推進されており、令和2年で事業が完了予定。 ※上水、簡水は『自然との共生』の中に包含してはどうか。
4 温泉を大切に	※温泉資源の維持保全は、『自然との共生』又は『観光・交流』の中に包含してはどうか。

●施策の大綱 1-2 快適な生活環境の創造

■成果指標に対する進捗管理

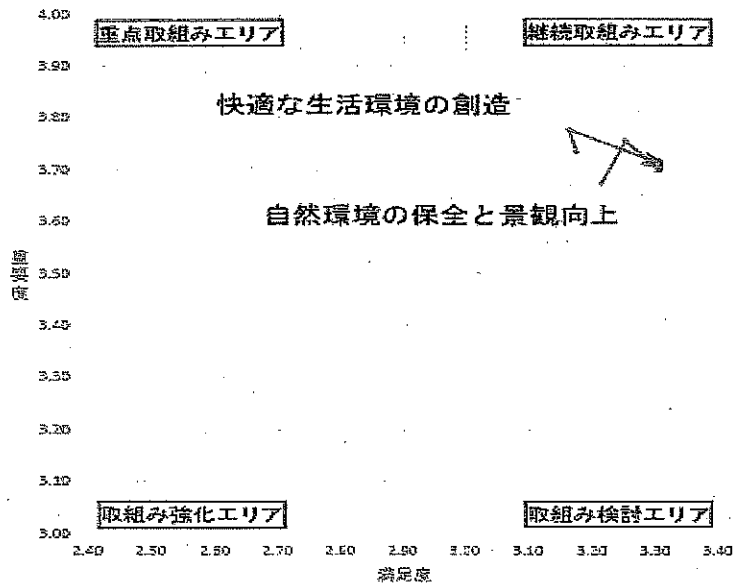
○指標(成果指標) / 1人1日あたりごみ排出量の削減
評価/順調に推移している

■後期基本計画の方向性の提案等

主要施策	後期基本計画の方向性の提案等
5 生活環境の改善	
6 花と緑の潤いのまちづくり	※花緑は市民や団体が主体となる緑化活動を支援していく取組みが課題。若い世代の参加促進が課題。 ※もてなしの花緑は『景観分野』に組み入れてはどうか。
7 廃棄物の減量・再資源化・適正処理	※廃棄物の減量は『資源循環』として、再資源化や適正処理とあわせて記述してはどうか。 ※ゴミ集積所の設置は、『環境衛生』に移動してはどうか。
8 低炭素都市の形成	※低炭素は『自然との共生』でよいのではないか。 ※不用品バンクは『資源循環』でよいのではないか。 ※公共交通は低炭素よりも『安全で安心な伊豆の国市のまちづくり』でよいのではないか。

◆ 市民アンケート調査結果

項目	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
平均値	3.02	3.50	2.85	3.48	2.85	3.39
1 自然環境の保全と景観向上	3.30	3.70	3.25	3.75	3.21	3.67
2 快適な生活環境の創造	3.30	3.71	3.16	3.78	3.17	3.73



市民アンケート結果では、全体平均と比較すると市民からの「満足度」「重要度」とも高い結果となっている。

市民からの評価も高く、本市の強みである分野といえる。

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

まちづくりの基本方針	1 豊かな自然に抱かれる伊豆の国市(自然・生活環境)			担当部署	
施策の大綱	1 自然環境の保全と景観の向上(自然環境)			環境政策課	
成果指標	水質基準(BOD)のAA達成河川数の増加				
	基準値(2015年度)		11地点	目標値(2021年度)	13地点
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項	
	(期待値) 12地点	(期待値) 12地点	(目標値) 13地点		
実績値	18地点	25地点			
達成状況	達成	達成			
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 市内河川水質調査を35地点で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 市内河川水質調査の継続実施。 事業者や市民への啓発事業等の実施。 ●実績 市内河川水質調査を35地点で実施した。 調査結果を市は広報誌及びホームページに掲載し、河川の水質改善について啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 市内河川水質調査の継続実施する。 調査結果の公表を行う。 		
評価・改善内容	引き続き、生物多様性の確保に向けて事業者や市民への公害防止の働きかけを継続する。	成果指標を達成しているが、今後も市民や事業者に向けて啓発活動を実施する。			
大綱の総合評価 (主要施策の達成状況)	主要施策の達成割合 3/4		概ね順調に推移している。		

主要施策	1 生物多様性の確保・保全		担当部署	下水道課
主要施策の 成果指標	公共下水道への接続戸数の増加			
	基準値 12,430戸(2015年度)		目標値 12,730戸(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 12,630戸)	(期待値 12,680戸)	(目標値 12,730戸)	—
実績値	12,650戸	12,595戸		—
達成状況	達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> R1接続実績 16件 未接続者に対しアンケートの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 大型事業(官民連携事業)の実施。 住民説明会の実施。 ●実績 大型事業(官民連携事業)の実施。 広報誌、市政懇談会等での周知。 住民説明会は、新型コロナウイルスの影響で未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 大型事業(官民連携事業)の実施。 広報誌やHPなどによる接続についての周知。 	
評価・改善内容	広報誌等で下水道に接続する目的や理由等を周知し接続率の向上を図る。	接続減少の原因は人口減少によるため、整備率の期待値の見直しが必要。		

主要施策	2 伊豆の国市風景づくりの推進		担当部署	都市計画課
主要施策の 成果指標	景観重点整備地区の指定数の増加			
	基準値 1地区(2015年度)		目標値 3地区(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 2地区)	(期待値 2地区)	(目標値 3地区)	—
実績値	1地区	1地区		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	・江川邸周辺区(金谷区、山木区)役員との協議。	○計画 ・公共施設(ガードレール)の美装化 ●実績 ・ガードレール美装化についてはコロナウイルスの影響により予算削減のため未実施。 ・屋外広告物指導・是正	○計画 ・該当地区住民、校区の小中学生を対象とした講演会、勉強会の開催。	
評価・ 改善内容	【区域指定＝規制】という認識が強いため、まずは公共施設(道路、安全施設など)の美装化から着手し、地域合意の醸成を図る。	・候補地の再検討をし、該当地区住民に対し、県景観形成推進アドバイザー制度を活用した、景観づくりの啓発事業を行う。		

主要施策	3 おいしい水が飲めるまちの推進		担当部署	水道課
主要施策の 成果指標	水質向上のための設備導入			
	基準値 1(2015年度)		目標値 1件(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 1件)	(期待値 1件)	(目標値 1件)	—
実績値	1件	1件		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	・宗光寺水系の急速ろ過器前に濁度計を設置。	○計画●実績 ・小松ヶ原第1配水池のpH調整における希硫酸方式から炭酸ガス方式への切り替え。	○計画 小松ヶ原水系のpH値は引き続き、水質検査や水道施設点検で監視していく。	
評価・ 改善内容	・水質検査を定期的に行っており、現在は異常値等は見受けられないが水質関連設備は年式も古い設備が多いため現在、作成している水道事業ビジョン等で計画的に水質関連設備の更新計画を検討する。	・炭酸ガス方式に切り替え後の水質検査でpHは基準値内で調整をできていることを確認した。		

主要施策	4 温泉を大切に		担当部署	観光課
主要施策の 成果指標	揚湯量の維持(伊豆長岡温泉)			
	基準値 72万t以下(2015年度)		目標値 72万t以下(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 72万t以下)	(期待値 72万t以下)	(目標値 72万t以下)	—
実績値	71万t	64万t		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 温泉保護や継承を目的とした限りある資源を有効活用するため、揚湯量を自主規制で定めた72万t以下となった。条例に基づき、基金10,007,978円(利子含む)を積立。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 基金積立の継続。 揚湯量72万t以下にする。 ●実績 <ul style="list-style-type: none"> 基金積立はコロナによる資金不足により実施せず。 温泉管布設替え工事210M(長岡リハビリテーション病院駐車場付近)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 揚湯量を引き続き72万t以下にする。 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 基金積立を毎年実施していく予定。揚湯量71万tのうち、施設使用料が68万t、5万tが不明水となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 揚湯量64万tだが、使用量58万tで8万tが不明水となっている。 コロナ禍で旅館等の休業により使用量は減少。 積立基金は実施せず、利子のみ積立する。 		

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

まちづくりの基本方針	1 豊かな自然に抱かれる伊豆の国市(自然・生活環境)			担当部署	
施策の大綱	2 快適な生活環境の創造(生活環境)			環境政策課・廃棄物対策課	
成果指標①	伊豆の国市全域におけるCO2の排出量の削減				
	基準値(2014年度)		36.4万ト	目標値(2019年度)	35.3万ト
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項	
	(期待値) 35.3万ト	(期待値) 35.3万ト	(目標値) 35.3万ト	実績値は、当該年度の概ね2年後に環境省より公表される数値となり、2019年度は現在まで公表されていない。	
実績値					
達成状況					
取組実績 (取組計画)	・CO2削減に向けた啓発活動の実施。	○計画 ・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の目標年度及び削減目標値の設定を行う。 ・CO2排出量削減に向けた補助金制度の検討。 ●実績 ・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の計画期間を3年間延長し、2021年度の削減目標値の設定を行うとともに、引き続き排出量削減に向けた取組を実施した。	○計画 ・住宅用新エネルギー機器導入補助金制度を開始し、市民向けの取組を進める。 ・次期計画の策定を前倒しし、CO2削減において実効性の高い取組を盛り込むよう検討するとともに、これまでの取組を進める。		
評価・改善内容		・2020年度の実績値はまだ公表されていないが、2018年度の実績値を見ると、CO2排出量は毎年削減傾向にある。			
成果指標②	1人1日あたりごみ排出量の削減				
	基準値(2015年度)		943.0g	目標値(2021年度)	931.6g
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項	
	(期待値) 935.4g	(期待値) 933.5g	(目標値) 931.6g		
実績値	979.5g	910.8g			
達成状況	未達成	達成			
取組実績 (取組計画)	・広報や出前講座による啓発の実施。	○計画 ・各種啓発活動の継続的な実施。 ・ごみ処理手数料見直しの検討。 ●実績 広報誌(ごみに関する記事を毎月掲載)や出前講座	○計画 ・引き続き、各種啓発活動の継続的な実施。 ・ごみ処理手数料見直し額の決定。		
評価・改善内容	・令和元年度は、台風第19号による災害ごみが搬出されたことにより、ごみ量全体が増加した。引き続き、ごみ排出量の削減に努める。	広報誌掲載や出前講座等による啓発が成果として出ている。今後もごみ排出量の削減に努める。			
大綱の総合評価 (主要施策の達成状況)	主要施策の達成割合 1/5	遅れている。			

主要施策	5 生活環境の改善		担当部署	環境政策課
主要施策の 成果指標	大気・悪臭・騒音・振動に関する苦情件数の減少			
	基準値 54件(2015年度)		目標値 42件(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 46件)	(期待値 44件)	(目標値 42件)	—
実績値	54件	44件		—
達成状況	未達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 野焼きの防止の周知。 不法投棄防止パトロールの実施(計19回)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 引き続き、野焼き防止の周知、不法投棄防止パトロールの実施等に取り組む。 ●実績 野焼き禁止の周知及び野焼きを行っている者に対して直接指導を行った。 定期的な不法投棄防止パトロールを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 継続して、広報等による周知を行う。 苦情が寄せられた場合は、現地に赴き原因者に直接指導を行う。 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 苦情件数は年度比較で増減を繰り返している。取組を推進することで断続的な減少に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報等による周知の効果により、件数の減少につながったと考える。今後より一層の周知に努める。 		

主要施策	6 花と緑の潤いのまちづくり		担当部署	環境政策課
主要施策の 成果指標	花苗の配布数の増加			
	基準値 22,130株(2015年度)		目標値 25,000株(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 23,600株)	(期待値 24,500株)	(目標値 25,000株)	—
実績値	17,870株	17,077株		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 環境基金を活用した散水栓設置工事の実施。 花飾り教室の実施(計2回)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 引き続き、市民団体と協働して各種イベント等を推進する。 ●実績 「花と緑にあふれるまちづくり」を実現するため、花に親しむイベントの開催及び花を育てやすい施設環境の整備を行った。 花飾り教室 モデル花壇整備 花壇への散水栓の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 各種イベント等を開催し、花に親しむ機会を増やし、「花と緑にあふれるまちづくり」を推進する。 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体の構成員の高齢化に伴い、事業実施団体の減少が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 本年においては、コロナ禍ということで、各団体の活動が制限(縮小)され花苗配支給数が昨年度を下回ったと考える。 		

主要施策	7 廃棄物の減量・再資源化・適正処理		担当部署	廃棄物対策課
主要施策の 成果指標	リサイクル率の向上			
	基準値 26.1%(2015年度)		目標値 27.7%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 27.2%)	(期待値 27.4%)	(目標値 27.7%)	—
実績値	26.1%	27.10%		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校の施設見学受入(4校) 11/16リサイクルイベントの実施 出前講座の実施(2回) 広報いずのくにでの連載記事開始 資源ごみ回収報奨金の交付(40団体:回収量328.6t) 生ごみ処理機購入費補助金交付(10件:198,800円) 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 市内小学校の施設見学受入 広報いずのくにへの連載記事 ごみ手数料見直しの検討 農土香堆肥の利用促進に関する検討 資源ごみ回収報奨金の交付 生ごみ処理機購入費補助金の交付 ●実績 市内小学校の施設見学受入 広報いずのくにへの連載記事 ごみ手数料見直しの検討 農土香堆肥の利用促進に関する検討 資源ごみ回収報奨金の交付 生ごみ処理機購入費補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 市内小学校の施設見学(社会科見学等)受入とPR 広報いずのくにへの連載記事 ごみ手数料見直しと資源化施設統合の検討 農土香堆肥の利用促進に関する検討 資源ごみ回収報奨金の交付 生ごみ処理機購入費補助金の交付 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、台風第19号による災害ごみが搬出されたことによりごみ量全体が増加した。 リサイクル率は、比重の重い紙類が近年のペーパーレス化等により減少しているため、向上しにくい状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と比較し、リサイクル率が上昇(改善)した。 引き続きリサイクル率の向上に努めることとする。 		

主要施策	8 低炭素都市の形成①		担当部署	環境政策課
主要施策の 成果指標	市役所の事務事業に起因するCO2の排出量の削減			
	基準値 7,401t(2015年度)		目標値 6,883t(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 7,056t)	(期待値 6,970t)	(目標値 6,883t)	—
実績値	6,436t	6,084.6t		実績値について、当該年度のCO2排出係数を用いて算出。
達成状況	達成	達成		
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21普及説明会及び省エネ講習会の開催。 エコアクション21取得事業者支援補助金の活用(1件)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 引き続き、期待値を達成できるように庁内の取組を推進する。 ●実績 電気の使用や燃料の使用に関してクールビズ・ウォームビズやエコドライブ等の省エネ行動への働きかけを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 次期事務事業編の計画策定において、市域全域でのCO2削減を牽引できるような実効性の高い取組を盛り込んだ計画を策定し、削減取組を推進する。 	
評価・ 改善内容	達成状況から、市職員の環境意識における機運は醸成されつつあると評価できる。	目標年度を待たず、市役所全体の削減目標値は達成したが、公用車等燃料使用の点で目標値達成とならなかった。相乗りやリモート会議の勧めにより、目標達成に努める。		

主要施策	8 低炭素都市の形成②		担当部署	地域づくり推進課
主要施策の 成果指標	鉄道駅に接続した自主運行バスの路線数			
	基準値 2路線(2015年度)		目標値 5路線(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 5路線)	(期待値 5路線)	(目標値 5路線)	—
実績値	4路線	4路線		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運行バス(2路線): 葦山駅、田京駅、大仁駅の3駅と接続。 ・予約型乗合タクシー(2路線): 伊豆長岡駅、田京駅の2駅と接続。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・引き続き、低炭素かつ効率的な公共交通の運行に向けた取組を推進する。 ●実績 ・自主運行バス(2路線): 葦山駅、田京駅、大仁駅の3駅と接続。 ・予約型乗合タクシー(2路線): 伊豆長岡駅、田京駅の2駅と接続。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・引き続き、低炭素かつ効率的な公共交通の運行に向けた取組を推進する。 	
評価・ 改善内容	・伊豆長岡駅は、民間の路線バスが接続済。	・伊豆長岡駅は、民間の路線バスが接続済。		

まちづくりの基本方針1 豊かな自然に抱かれる伊豆の国市(自然・生活環境)

施策の大綱 1-1 自然環境の保全と景観の向上

将来の姿／市民の誇りでもある、おいしい水の源となる豊かな自然環境や農地が継承されるとともに、美しい景観づくりが進んでいます。

■ 指標(成果指標)／

水質基準(BOD)のAA達成河川数の増加

[主要施策]

1. 生物多様性の確保・保全

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
生物多様性(※1)の確保に向けて、森林や農地の適切な管理とともに、多面的機能の維持、河川の水質向上を推進します。	・森林ボランティアの育成・支援	・木材粉碎機(チップパー)の貸出などで、森林ボランティア活動を支援。	
	・放置竹林の整備と間伐の促進	・森の力再生事業(県)の実施箇所の調整などを実施。 ・優良林育成事業を行う森林所有者に対し補助金を交付。	
	・農地の持つ多面的な機能の維持・保全	・農業振興地域整備計画に基づく取組を実施。同計画の定期見直しを実施 ・耕作放棄地の実態調査を実施(毎年度)	
	・河川水質の保全と監視(水質類型判定、河川水質の調査結果の情報公開)	・河川水質調査を市内35地点で実施した。(水質基準(BOD)AA達成実績:平成29年度 24地点、平成30年度 17地点、令和元年度 18地点、令和2年度 25地点)	
	・林業者及び野生鳥獣狩猟者の後継者の育成	・沼津地区林業研究会や伊豆流域林業活性化センター等、5つの団体へ負担金を支出。 ・農林業者、捕獲従事者、鳥獣被害防止対策協議会へ報償や活動費補助等による助成を交付した。	
	・自然観察・環境学習の実施	・国土交通省と共催で市内小学生を対象に狩野川水生生物観察会を開催し、河川の状態を把握するとともに生息する虫を中心とした水生生物等を確認することにより、水質の変遷を確認している。(参加人数 平成29年度:13人 平成30年度:31人 令和元年度:23人 令和2年度については、設定日・予備日ともに川の水量が多かったため中止)	
	・単独浄化槽から合併浄化槽への置換の促進	・単独浄化槽から合併浄化槽への置換の促進(補助金)を行った。(平成29年度:12基、平成30年度:21基、令和元年度 :7基、令和2年度 :12基)	
・下水道への接続の推進	・公共下水道へ12,595戸接続した(令和元年度実績)。また、未接続者に対しアンケートを実施した。 ・国・県の汚水処理施設整備構想の方針に基づき、令和8年度までに下水道未普及地域の整備を完成するため、「PPP/PFI(官民連携手法)」を導入し、「住環境の向上」「公共用水域の水質保全」の実現に向けた管路施設詳細設計業務及び管路施設整備工事に着手した。(令和2年度)		
その他	・間伐、下刈り、皆伐再造林、枝打ちによる森林整備(平成30年度実績:60.09ha)を実施したことで、森林内に太陽光を取り込み多様な下層植生の育成を促すことができた。		

[主要施策]

2. 伊豆の国風景づくりの推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
豊かで美しい自然環境と一体となった伊豆の国市特有の優れた眺望(富士山、城山、葛城山、田方平野、狩野川等)の保全や、周辺景観に配慮したまちづくりを推進し、ビューポイントを内外に発信していきます。	・景観に配慮したまちづくりの推進(景観重点整備地区の指定数の増加、屋外広告物条例の運用、電線の地中化等)	・良好な景観を図るため、「伊豆の国市屋外広告物条例」を平成29年4月に施行し、市独自の基準を設けた。 ・市屋外広告物条例の施行に伴い、県条例には適合していたが、市条例には適合しなくなった既存不適格の広告物261件に対し改修指導を行い、233件が改修された。(令和3年6月時点) ・オリンピック開催に向けて県と伊豆半島13市町が協力し、主要路線沿いに設置されている無許可の野立て違反看板に対する是正指導を行い、市内256件のうち241件が改修された。(令和3年6月時点) ・景観重点整備地区の候補地区である江川邸周辺(金谷区、山木区)において、景観に対する理解促進のための説明会や住民意向アンケートを実施した。 ・景観、自然環境及び安全安心な生活環境の保全と再生可能エネルギー事業との調和を図るため、「伊豆の国市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」を令和元年7月に施行した。	○景観重点整備地区の増加 ○電線の地中化
	・景観重要樹木の指定		○
	・「伊豆の国八景」の公募と設定		○

[主要施策]

3. おいしい水が飲めるまちの推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
市民の皆さんから高い評価を受けている安全でおいしい水を維持するため、韮山・大仁地区の水源を保護・継承するとともに、水質の維持・向上を図ります。	・水源の保護	・水質検査を定期的に実施した。	
	・おいしくて安い水道水キャンペーンの実施	・市内16水系において、おいしい水の要件である7項目の水質検査を実施し、その結果を市HPで公表する。	
	・おいしい水や水源の保護、節水に関する環境教育の実施	・田中山地区の給水区域の拡張に伴い、安全でおいしい飲料水の安定供給が行えるよう田中山中継ポンプ場改良整備を実施した。 ・毎年度小学生の水道施設見学を受け入れ、節水を呼び掛けた。	
	・水質向上のための設備導入	・令和元年度に宗光寺水系の急速ろ過器前に濁度計を設置した。	

[主要施策]

4. 温泉を大切に

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
市内には鎌倉時代に遡る、歴史ある温泉があり、アルカリ性単純泉の泉質は、美肌に良いとされ、源泉は無色・無臭で飲泉も可能です。この温泉の源泉を保護・継承するとともに、限りある資源を大切にすするため、揚湯量を維持していきます。	・源泉の保護	・源泉保護や継承を目的とした限りある資源を有効活用するため、伊豆の国市温泉保護対策基金条例に基づき10,000,000円の基金積立を実施した。(平成29年度～令和元年度、令和2年度以降はコロナのためできていない)	
	・泉質の維持		
	・揚湯量の維持	・揚湯量は毎年自主規制で定めた72万t以下としている。	

施策の大綱 1-2 快適な生活環境の創造

将来の姿／再生可能エネルギーが普及するとともに、省エネルギーや廃棄物の減量・再資源化が進んだ、快適かつ持続可能な社会が実現しています。

■ 指標(成果指標)

伊豆の国市全域におけるCO2の排出量の削減

1人1日あたりごみ排出量の削減

[主要施策]

5. 生活環境の改善

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
美しい自然と観光地としての美観の維持、気持ちの良い暮らしの環境づくりに向けて、市民主体の環境保全活動と定期的な清掃活動を維持します。大気・悪臭・騒音・振動に関する良好な状況を維持するよう、市民、事業者への意識啓発の継続と、公害を未然に防止する監視・指導の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視体制の充実・強化(定期パトロール体制、通報網の整備、監視カメラの設置) 地域住民による清掃活動支援(年3回の一斉清掃を実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の不法投棄を未然に防止するため、不法投棄看板を19枚配布し生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることができた。不法投棄防止パトロールを実施した。(令和元年度実績:19回、令和2年度実績:12回) 環境美化の日に各地区で行う清掃に対し、市はごみ回収等を実施するなど各地区の活動を支援した。 公衆衛生の向上を図るため衛生害虫駆除用薬剤の配布を実施した。(平成30年度31地区、令和元年度32地区、令和2年度30地区) 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 市給食センターや家庭からの廃食用油を利用してリサイクル石鹸を製造する団体を支援した。(廃油量 令和2年度:425ℓ) 畜犬の飼い主に狂犬病予防注射を適正に行わせ、公衆衛生の向上及び人と動物の共生する社会を築くため、市内26か所で集合注射を実施した。(平成29年度711頭、平成30年度実績:694頭、令和元年度実績:625頭)令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合注射は中止した。 飼い主がいない猫の繁殖を防止するために、飼い主のいない猫の不妊手術を行う者に対して補助金を交付した。(上限:オス 3,000円、メス5,000円)(平成29年度実績:451千円、平成30年度実績:433千円、令和元年度実績:584千円、令和2年度実績:595千円) 動物愛護思想の向上と適正な飼育管理の推進を図るため、環境政策課窓口にて犬猫に関する情報交換の場として伝言板を設置した。 1人1日あたりのごみ排出量の削減に向けて、広報や出前講座による啓発を実施した。 	

[主要施策]

6. 花と緑の潤いのまちづくり

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
郷土に誇りと愛着を持つ市民や地域、民間とともに、花と緑にあふれる美しいまちを実現し、潤いとやすらぎのある生活環境を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路、駅、バス停、主要な公共施設等へのプランター等の設置 	<p>【花咲く伊豆の国推進協議会を設立し、下記の事業を実施した。】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花咲く伊豆の国マーガレット街道花壇整備(珍野花壇～大門橋)を実施した。(平成29年度～) おもてなし花壇の整備(整備箇所) 平成30年度:国道136号南條葦山反射炉入り口 令和元年度:国道414号沿い白山堂大門橋付近 令和2年度:葦山時代劇場北側 我が家の花自慢「一家一花運動」を実施。花咲く伊豆の国推進協議会会員及び関係団体等15団体に1,147株を購入していただいた。(令和2年度実施) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体等による花壇づくりの促進 		

(続き)	<ul style="list-style-type: none"> 花に関するイベントの開催 	<p>【花咲く伊豆の国推進協議会を設立し、下記の事業を実施した。】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花と緑にあふれる美しいまちづくりを推進するため「花咲く伊豆の国フェア」を実施している。(平成28年度～) 平成29年度観覧車数:約9,200人、平成30年度観覧者数約10,100人 (令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、令和3年度は延期した。) 花飾り教室を実施 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績(年2回205参加)、平成30年度実績(年2回200参加) 令和元年度実績(年2回83参加)、令和2年度実績(年1回50名参加) 楽しい花壇づくり講座(平成30年度実施:72名参加) 花壇づくり基礎研修会を実施 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度実績:年5回、69名参加 令和2年度実績:年4回、71名参加 花・緑コンクール実施 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績:団体3応募 平成30年度実績:団体3応募 令和元年度実績:団体8、個人3名応募 令和2年度実績:団体13、個人4名応募 	
	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとのテーマカラーの設定 		○
	<ul style="list-style-type: none"> 花き緑化活動団体への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 環境基金を活用し、花咲く推進協議会を支援して市内公共花壇の散水栓設置工事を実施した。 花咲く伊豆の国推進協議会に交付金を交付した。 伊豆の国市花の会に補助金を交付した。 花き緑化団体に花苗の支給をした。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化活動の実施(小・中学校環境美化奉仕活動) 		○

[主要施策]

7. 廃棄物の減量・再資源化・適正処理

施策内容	計画	前期基本計画の実績	
		実績	未実施
県内随一のごみ分別種目を誇る本市において、更にごみ排出量の削減、ごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル)の拡大が進むよう、市民、事業者が自ら実践できる環境の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量・資源化の推進(ごみの有料化の継続、マイバック運動等) 	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収登録団体に対し資源ごみの回収量に応じた報奨金を交付した。(令和元年度実績:40団体 328.6t、令和2年度実績:35団体 262,324kg) 市内全地区へのごみ分別説明会を実施した。(平成30年度実績:74会場 参加者数2,284人) 出前講座を実施した。(令和元年度実績:2回) リサイクルイベントを実施した。(令和元年度実績:1回) 円滑なごみ収集及び運搬を実施するため、ごみ集積所の設置を増加した。(平成30年度実績:新設6件、令和元年度実績:2件) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ資源化の推進(資源循環センター農土香による堆肥化、製品の販路拡大)と、農土香事業の検証及び拡大についての検討 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用生ごみ処理機購入者に対する補助金を交付した(平成29年度実績:8世帯、平成30年度実績:16世帯、令和元年度実績:10件、令和2年度実績:12件) 食品残渣や剪定枝を原料とする未利用バイオマスの搬入量増加。(平成29年度実績:1,401トン、平成30年度実績:1,481トン、令和2年度実績:1,360トン) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 不用品活用バンクの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 一般家庭において不要となった生活用品が廃棄物となることを抑制し、不用品については、適正に循環的な利用が行われることを促進するために、不要となった品を焼却処分せず、広報を通じてリユースの促進を図った。(不用品活用バンク成立件数 平成29年度実績:36件、平成30年度実績:42件、令和元年実績:45件、令和2年度実績:63件) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校における環境教育(ごみの減量、紙の節約等)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校の施設見学受入を行った(令和元年度実績:4校、令和2年度実績:4校) 	

[主要施策]

8. 低炭素都市の形成

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
市を挙げて省エネルギー・再生可能エネルギーに取り組みとともに、持続可能な社会に向けた低炭素都市を形成するため、行政機関が率先して地球温暖化対策を計画的に実行します。	・ 温室効果ガス排出量の削減(削減目標の設定、削減量の算出チェック)	・ 温室効果ガス排出量の削減するため、目標値を定め、毎年進行管理を行っている。(実績値 平成27年度(基準年度)7,423t、平成29年度7,385t、平成30年度6,909t、令和元年度6435t、令和2年度実績値6,084t)	
	・ エコアクション21認証取得の拡大(民間事業者への支援)	・ エコアクション21普及説明会及び省エネ講習会の開催。 ・ エコアクション21取得事業者支援補助金の実施。(平成30年度交付実績:2件、令和元年度交付実績:1件、令和2年度交付実績:0件))	
	・ 公共施設等における更新時期となった設備を省エネ設備(照明、空調、給湯等)に転換	・ 市内体育館、学校等の照明を更新時期に合わせてLED化により省エネを図っている。(平成30年度:長岡体育館柔剣道場)(令和元年度:葦山体育館、葦山運動公園多目的グラウンド、大仁小学校グラウンド)(令和2年度:大仁中グラウンド、長岡中グラウンド、葦山中グラウンド、長岡南小グラウンド、大仁体育館、長岡体育館)(令和3年度:中央図書館)	
	・ 新エネルギー設備整備に向けた支援の継続	・ 住宅用新エネルギー機器導入補助制度を設け、市民への普及を実施。 (交付実績 平成29年度:45件 平成30年度:43件 令和元年度、令和2年度は事業を停止、令和3年度より再開)	
	・ 再生可能エネルギーの先進事例把握、導入試行に向けた研究と検討	・ 先進的な取組の情報収集は継続的に行っているが、導入への検討にまでは至っていない。	
	・ 小・中学校における環境教育(節電等)の充実		○
	・ プラグインハイブリッドカー(PHEV)や電気自動車(EV)用充電器設備及び燃料電池自動車(FCV)用水素供給設備(水素スタンド)設置の普及・啓発		○
	・ 公用車(保有車)の低公害車への切り替えの取組	・ 平成29年度実績:小型貨物3台、軽自動車5台 ・ 平成30年度実績:普通車1台、軽自動車4台購入 ・ 令和元年度実績:軽自動車4台購入、令和2年度実績:軽自動車2台購入	
・ 低燃費・低公害車の利用促進の啓発		○	
計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
公共交通の利用促進による自家用車使用の総量削減を目指します。	・ 鉄道駅と公共交通(路線バス・タクシー)の繋ぎ目のない接続による利便性の向上	・ 市を南北に貫く伊豆箱根鉄道駿豆線を基幹公共交通軸として、その5つの駅を交通結節点と位置付け、既存のバス路線などを、これらの駅に接続させることによって、地域公共交通ネットワークを形成する。 ・ 自主運行バスについては、平成29年度から田京駅への接続が加わり、2路線2駅となった。予約型乗合タクシーについては、令和元年に立花Golが運行開始し、令和2年度に2路線2駅となった。	
	・ より使いやすい自主運行バスの再編・充実	・ 平成30年度から自主運行バス葦山循環線と千代田線を統合した新路線(千代田団地・葦山駅・奈古谷温泉口線)を運行開始した。	
	・ 路線バスと電車の利用促進	・ 高齢者に向けバス鉄道利用券を配布した。	

